

# かんしょ病害について

- ◆ 平成30年秋、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県内でかんしょのつるが枯れ、いもが腐る病状の病気が確認され、大きな問題となった。罹病いもや発生ほ場からは「乾腐病菌」や「つる割れ病」に加えて「サツマイモ基腐病」が初めて確認された。
- ◆ 令和元年産において、苗の消毒、排水対策、土壌消毒等を実施したが、収穫期以降に発生地域が拡大し、著しい被害となった。
- ◆ 令和元年の被害の拡大を踏まえ、かんしょ生産者の不安を解消し、次期作への影響を最小限にするための取組を支援するため、令和元年度補正予算「甘味資源作物産地生産性向上緊急支援事業」を措置するとともに、さとうきび増産基金にかんしょの病害虫被害対策を追加。

もとぐされびょう

## サツマイモ基腐病



地際の茎が黒変し、地上部が萎凋、枯死する。枯死した植物体上に微小な黒色の分生子殻が形成される。塊根は成り首からゆっくりと腐敗する。

- 【病原菌】糸状菌の一種 *Plenodomus destruens* Harter
- 【伝染】 苗伝染、土壌伝染（植物残渣で越冬）
- 【防除】 適切なほ場管理

## 令和2年産に向け行われた対策（概要）

- 甘味資源作物産地生産性向上緊急支援事業  
サツマイモ基腐病の次期作への影響を最小限にするための取組を支援
  - 1) 地域全体への支援
    - ・ほ場残渣の処理
    - ・種いも他地域からの輸送
    - ・苗・苗床消毒用殺菌剤等調達
    - ・罹病判定のための簡易検査
    - ・反転耕や土壌殺菌のための作業機導入
  - 2) 被害が著しいほ場（3割以上減収）への支援
    - ・土壌消毒剤調達
    - ・マルチの調達
    - ・堆肥調達や散布委託
    - ・ウイルスフリー苗及び種いもの調達
    - ・他作物への転換
    - ・予防薬剤の散布
- さとうきび増産基金事業  
サツマイモ基腐病等病害虫による被害に対応した取組を支援

# ○ 甘味資源作物生産支援対策

【令和2年度予算概算決定額 11,359 (10,795) 百万円】  
 (令和元年度補正予算額 2,005 百万円)

## <対策のポイント>

甘味資源作物生産者及び国内産糖製造事業者の経営の安定並びに砂糖の安定供給を図るとともに、さとうきび等の自然災害からの回復に向けた取組、病害虫への対応や生産性向上、働き方改革に対応した分みつ糖工場やいもでん粉工場の労働効率を高めるための取組等を支援します。

## <政策目標>

- てん菜の生産量を増加 (368万トン [令和7年度まで])
- さとうきびの生産量を増加 (153万トン [令和7年度まで])
- 国内産糖の安定的な供給 (80万トン [令和7年度まで])
- かんしょの生産量を増加 (94万トン [令和7年度まで])

## <事業の内容>

## <事業イメージ>

### 1. 甘味資源作物生産者等支援安定化対策 10,578 (10,083)百万円

- 国内産糖と輸入糖にある内外コスト格差を調整するため、(独)農畜産業振興機構が甘味資源作物生産者及び国内産糖製造事業者に交付する甘味資源作物交付金及び国内産糖交付金の一部に相当する金額を同機構へ交付するとともに、生産者交付金の代理申請者の申請・支払事務経費への支援を行います。

### 2. 甘味資源作物安定生産体制確立事業 781 (711)百万円

- 基金方式によりさとうきびの台風、干ばつ、病害虫発生等の自然災害への対応及びかんしょの病害虫への対応を支援します。

### 3. 甘味資源作物産地生産性向上緊急支援事業

令和元年度補正予算 2,005百万円 (ソフト1,655百万円、ハード350百万円)

- さとうきび、かんしょについて、病害虫への対応や地域ぐるみでの生産性を向上させるための取組、分みつ糖・いもでん粉工場について、労働効率や衛生管理を高度化する取組などを支援します。

### さとうきび増産基金

#### ○さとうきび勘定

自然災害	主な対策
干ばつ	・ かん水
台風	・ 除塩 (散水) ・ 苗の補植、改植
病害虫	・ 病害虫防除
糖度減少	・ 土づくり ・ 株更新
その他の災害	災害の内容に応じた対策 { 株出管理作業 ・ 苗の確保 等 }

#### ○かんしょ勘定

- ・ 病害虫防除対策

### 甘味資源作物産地 生産性向上緊急支援事業

#### ○さとうきび

さとうきび産地において、土づくりの推進や自然災害に強い品種への転換、農業機械等の導入等島ごとの実情に応じた生産性向上の取組や病害虫の発生に備えた予防的な取組を支援。

#### <取組例>

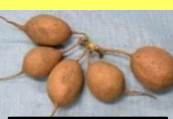


堆肥の散布

#### ○かんしょ

サツマイモ基腐病の次期作への影響を最小限にするための取組やでん粉原料用かんしょの生産性向上のため多収新品種への転換や生分解性マルチの導入、農業機械の導入等を支援。

#### <取組例>



多収新品種への転換

#### ○分みつ糖工場、いもでん粉工場

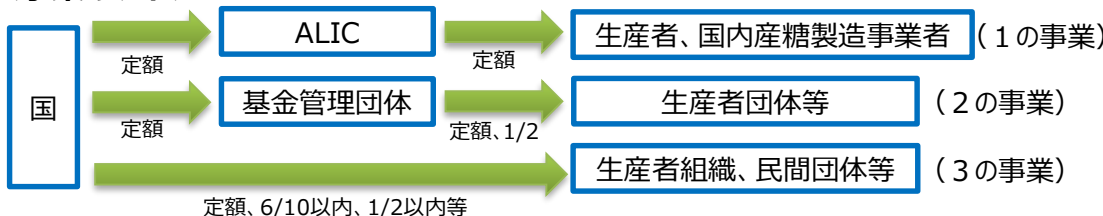
働き方改革を踏まえ、労働力不足の改善や省力化に向けた人員配置の検討及び施設整備など労働効率を高める取組等を支援。

#### <取組例>



労働力の効率化

## <事業の流れ>



【お問い合わせ先】 政策統括官付地域作物課 (03-3501-3814)